

意欲や自信を高めるための上手な話し方 指導のためのプログラム

< 展開例 >

1. 指導の機会

保育所・幼稚園（保護者会）

2. 対象年齢

5歳児、6歳児保護者

3. ねらい

子どもの意欲や自信を高めるためには、子どもの力を信じて、褒めたり励ましたりすることが大切であるということを感じさせる。

(1) 題材 (例) Step 7 6歳児の成長の様子

(2) 展開 (例) 6歳児

時配	指導の流れ	指導上の留意点
3	<p>1 導入</p> <p>○子どもの普段の様子を思い出し子どもをほめたり、励ましたりする場面を思い起こさせ、プリントに記入させ、発表させる。</p> <p>○子どもを褒めたり、励ましたりするときにはどんな時ですか？メモしてみてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お母さんの言うことをよく聞いてくれたとき ・あいさつができたとき ・お話が聞けたとき ・お友達と仲良く遊んだとき ・塗り絵が上手にできたとき <p>○そのときどんな言葉をかけますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良かったね ・おりこうさんね ・えらいね ・お兄（お姉）ちゃんになったね ・上手に書けたね <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>子どもの意欲や自信を高めるための上手な話し方について考えましょう。</p> </div>	<p>○できるだけ、簡単にメモを取るよう助言する。</p>
15	<p>2 展開</p> <p>○子どもの意欲や自信を高めるための上手な話し方について考える。</p> <p>①「親の一言」を体験する。</p> <p>○2人組になり、事例1と2を体験する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子役と親役を決める ・役になりきる ・どんな気持ちになったかを考えてもらう ・ケースを説明する 	<p>○隣の人とすばやく2人組をつくれるよう説明するとともに、事例1、事例2の会話内容等については親と子どもになりきる。</p>

事例1

6歳の和也君は絵が大好きです。お父さんの誕生日に似顔絵を描いてプレゼントしました。

*お父さん役は本人の顔は見ないで話しかける。

お父さんの一言

「何だ？これがお父さん？ちっとも似てないなあ〜、和也は絵が下手なんだ」

事例2

*お父さん役は子ども役の顔を良く見て話しかける。

お父さんの一言

「へー、よく書けているジャン。6歳にしてはうまいよ。この目なんかお父さんそっくりだよ」

②感想を発表しあう。

○2つの事例を体験してどのような感想を持ちましたか。

- ・認められないことやそっぽを向いて話されるとやる気をなくす。
- ・褒めたり励まされたりするとうれしい。
- ・やる気が出る。

子どもの意欲や自信を高めるためには、子どもの力を信じて、褒めたり励ましたりすることが大切である

○親子のコミュニケーションの取り方について簡単に説明する。

<ポイント>

- ・話をじっくりと聞く
- ・気持ちや考えを受け止める
- ・褒めたり励ましたりする
- ・頑張りを認める

5

3 まとめ

家庭教育支援資料「Step 7 6歳児の成長の様子」を配布し、講話を行う。

- ・得意なことを皆の前でやってみせる。
- ・他の友達のために頑張る。
- ・達成感を持たせる。
- ・遊びや行事を楽しみにし、自信を持たせる。
- ・好奇心を持たせる。

○親役は、話し方はもちろんのこと、親の態度も考えて演技してもらう。

○子役はどんな気持ちをそれぞれ持ったかを考えるよう指導する。

○子どもの意欲や自信を高めることの大切さについて強調する。

○子どもは話をじっくり聞いてもらい、親に褒められたり、励まされたりすることで安心し自信がつき、行動に意欲が表れていくことに気づかせる。

○あくまでも発達を目安であることや、発達には個人差があることを話す。